| 科目名 | 開講時期 | 必修・選択 | 科目区分 | 単位（時間） | 科目責任者 |
|---|---|---|---|---|---|
| 生理機能検査学Ⅰ | 1年次 | 必修 | 講義 | 1単位（30時間） | 笹岡　悠一　※ |

## 授業概要

政令で定める生体機能検査を円滑に実施するための知識を修得する。生体機能情報を収集するための理論と実際、そして結果の解析と評価をできるようにする。

## 到達目標

・検査目的の対象となる臓器の構造と機能を説明できる。
・測定の目的、原理、操作方法、アーティファクトを説明できる。
・測定結果の判読法を学び臨床的意義を説明できる。
・測定機器の原理、構造を説明できる。

| 回 | 学習内容 | 担当教員 |
|---|---|---|
| 1 | 臨床生理検査の特色 | 笹岡　悠一　※ |
| 2 | 心電図検査Ⅰ：心臓の構造と機能 | |
| 3 | 心電図検査Ⅱ：心電図の発現機構 | |
| 4 | 心電図検査Ⅲ：誘導法、正常心電図 | |
| 5 | 心電図検査Ⅳ：異常心電図 | |
| 6 | 心電図検査Ⅴ：異常心電図 | |
| 7 | 心電図検査Ⅵ：異常心電図 | |
| 8 | 心電図検査Ⅶ：心電計 | |
| 9 | 心電図検査Ⅷ：負荷心電図、ホルター心電図 | |
| 10 | 心電図検査Ⅸ：その他の心電図 | |
| 11 | 心音図検査Ⅰ：心音図と心周期 | |
| 12 | 心音図検査Ⅱ：心音、心雑音 | |
| 13 | 脈波検査Ⅰ：動脈硬化検査 | 大西　秀典　※ |
| 14 | 脈波検査Ⅱ：その他循環器検査 | |
| 15 | 脈波検査Ⅲ：血管内皮機能検査 | |

## 学習方法

・講義後に関連部分の教科書を読んで復習すること。

## 評価方法

・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。
・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。
・定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。
・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。

## 先修科目

## 教科書、参考書

〔教科書〕
最新臨床検査学講座　生理機能検査学　　東條尚子　他　　医歯薬出版